

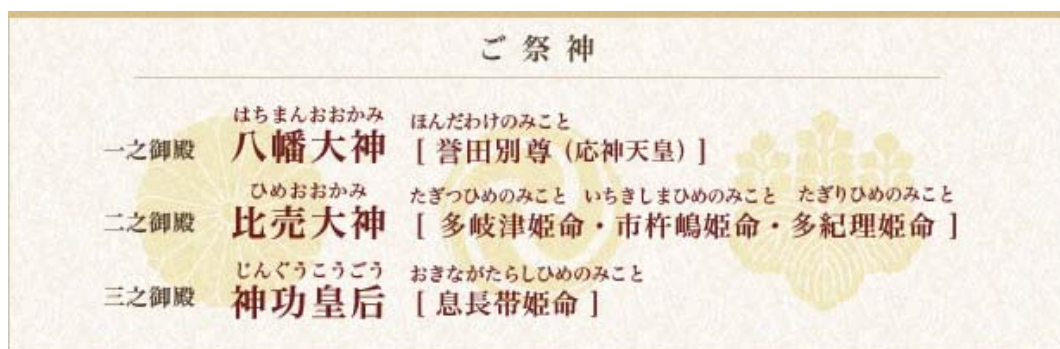


- [トップページ](#)
- [宇佐神宮について](#)
- [参拝のご案内](#)
- [お祭について](#)
- [八幡講崇敬会](#)

[トップページ](#) > [宇佐神宮について](#) > 由緒

由緒

文章中の黄色いチェック部分にカーソルを合わせると解説を表示します



八幡さまは古くより多くの人々に親しまれ、お祀りされてきました。

全国約11万の神社のうち、八幡さまが最も多く、4万600社あまりのお社(やしろ)があります。

宇佐神宮は4万社あまりある八幡さまの総本宮です。

御祭神である八幡大神さまは応神天皇のご神霊で、571年(欽明天皇の時代)に初めて宇佐の地にご示顕になったといわれます。応神天皇は大陸の文化と産業を輸入し、新しい国づくりをされた方です。725年(神亀2年)、

現在の地に御殿を造立し、八幡神をお祀りされました。

これが宇佐神宮の創建です。

宇佐の地は畿内や出雲と同様に早くから開けたところで、神代に比売大神が宇佐嶋にご降臨されたと『日本書紀』に記されています。比売大神様は八幡さまが現われる以前の古い神、地主神として祀られ崇敬されてきました。八幡神が祀られた8年後の733年(天平5年)に神託により二之御殿が造立され、宇佐の国造は、比売大神をお祀りしました。

三之御殿は神託により、823年(弘仁14年)に建立されました。

応神天皇の御母、神功皇后をお祀りしています。神功皇后は母神として神人交歓、安産、教育等の守護をされており、そのご威徳が高くあらわれています。

八幡大神の御神徳は強く顕現し、三殿一徳のご神威は奈良東大寺大仏建立の協力や、勅使・和氣清麻呂(わけのきよまろ)公に国のあり方を正してゆく神教を賜ったことで特に有名です。皇室も伊勢の神宮につぐ第二の宗廟としてご崇敬になり、勅祭社16社に列されています。また、一般の人々にも鎮守の神として広く親しまれてきました。

八幡信仰とは、応神天皇のご聖徳を八幡神として称(たた)え奉るとともに、仏教文化と、我が国固有の神道を習合したも



のとも考えられています。その長い信仰の歴史は宇佐神宮の神事や祭会、うるわしい建造物、宝物などに今も見ることができます。千古斧(おの)を入れない深緑の杜(もり)に映える美しい本殿は国宝に指定されており、総本宮にふさわしい威容を誇っています。

- [このページの一番上に戻る](#)

宇佐神宮について

- [由緒](#)
- [ご祭神](#)
- [八幡大神ゆかりの伝承](#)
- [歴史年表](#)

|| 文字の大きさ

標準 大 最大



※特設ページが開きます



宇佐神宮庁

〒872-0102

大分県宇佐市

南宇佐2859

TEL：0978-37-0001

FAX：0978-37-2748

メールを送る

上宮の開門時間

【4月～9月】

5時30分～19時

【10月～3月】

6時～19時

※正月期間中を除く

祈願祭の受付時間

9時～16時(毎日)

[祈願祭の詳細はこちら>>](#)

※恒例祭齋行中は中断の場合がございます。

関連サイト



- [トップページ](#)
- [宇佐神宮について](#)
- [参拝のご案内](#)
- [お祭について](#)

- [よくある質問](#)
- [八幡講崇敬会](#)
- [宝物館](#)
- [表参道商店街](#)
- [お問い合わせ](#)
- [免責事項](#)

Copyright (C) 宇佐神宮庁. All Rights Reserved.